

## 4 (付) . 社会貢献活動詳細

1/4 晴れ

### コースタイム

8:10	カブリコンホテル発
8:20	ムシリ村小学校着 農業についての説明
8:50	朝食
9:30	ムシリ村小学校発
9:40	植樹地着
11:05	植樹地発
11:15	カブリコンホテル着 荷物積み込み
11:30	カブリコンホテル発
12:20	コーヒーショップ着 お土産のコーヒー購入
13:00	コーヒーショップ発
14:10	エディスさん宅着 昼食
15:05	キワワ小学校着 贈呈式&懇談
17:15	キワワ小学校発
18:10	モメラロッジ着

エディスさんの TOYOTA ハイラックスを先頭に、ランドクルーザー 4 台はメンバーを乗せ、カブリコンホテルを後にムシリ村へ向かう。なかなかの悪路である。

ムシリ村小学校に集結し、無農薬栽培や、熱効率のよいカマド等の現地の環境改善活動の説明を聞く。小学校のホールでタンザニア風の朝食を頂いた後、植樹地へ向かう。植樹地で植樹要領を聞き、準備されていた 4 種類の苗木の 500 株を皆で手分けして植える。植樹地の傾斜はきつく、強い日差しを受けながらであったが、1 時間 20 分程でなんとか殆どの植樹穴へ植え尽くす。

この後、一旦ホテルへ戻り、荷物を車へ積みアリュージャへ向かう。途中、モシのコーヒーショップにて小休後、エディス邸にてタンザニア風昼食を美味しく頂く。

キワワ小学校へ着くと、既に白い歯を輝かせ、整列した可愛い大勢の子供たちが待ち受けていた。子供たちは合唱と踊りで歓迎してくれた。日本から持参した、文房具とサッカーボールを子供たちへ贈ると、子どもたちの表情は満面の笑みで、受け取った品々を高く掲げ、本当に嬉しそう

だった。こんなに喜んでもらい、私たちもとても嬉しかった。次に教室に入り、校長先生・村長さんたちとメンバーの懇談に入る。小学校や地域住民のことなどを聞き、特に教育環境のレベルの低さを痛感する。最後に男女一対の民族衣装をプレゼントして頂き、お返しに油井さんの「春の海」と「新相馬節」の尺八演奏でしめる。

### 【ムシリ村での環境改善活動】



<ムシリ村小学校>



<現地 朝食>



<改良かまど>



<農機具>



<有機栽培(きゅうり)>

## 【ムシリ村での植樹活動】

ムシリ村の奥、建設中の中学校近くの斜面へ苗木の植樹を実施する。

既に、斜面へは植樹用にバケツ程度の穴が設けてあり、植樹要領の説明を聞いた後、全員で4種類の苗木の植樹に取り掛かる。

急傾斜で足場も悪く、強い日差しを受けながら、現地のボランティアグループと共同で懸命に作業に集中する。

### < 植樹手順 >

1. 苗木の下部の土を包んでいるビニールを外す
2. 苗木を植樹用穴の中央へ置く
3. 掘り起こしてある土を苗木の下部の土の上面まで入れる
4. 苗木が垂直になるように体勢を整える
5. バケツなどで水を土の上面より5～10センチ程度下まで注ぐ



Ficus Sychomorns

(フィカスサイコモラス)



Cordia Africana

(コディアアフ리카ーナ)



Albizia Lebeck

(アルビージアレベック)



Kaya Onthotheta

(カヤオンソテータ)



< 植樹要領の説明を聞く >



< 大切な苗木 >



< 現地の人達と協力した植樹作業風景 >

### 【キワワ小学校 文房具寄贈と懇談】

キワワ小学校へ着くと、既に整列している大勢の子供たちの合唱と踊りで歓迎を受ける。YさんやWさんが、子供らの輪に入って不器用に踊りだすと、子どもたちにオオウケである。日本から持参した文房具とサッカーボールを子供たちへ贈ると、子どもたちの表情は最高潮となり、受け取った品々を高く掲げ嬉しさで笑みがはじける。一帯は歓喜に包まれた。こんなに喜んでもらい、私たちもとても嬉しかった。次に教室へ移動し、校長先生・村長さんたちとメンバーの懇談に入る。

< 寄贈の品 >

- 1 . ノート 100 冊
- 2 . 鉛筆 600 本
- 3 . 消しゴム 50 個
- 4 . 三角定規 50 個
- 5 . コンパス 50 個
- 6 . 鉛筆削り ( 大 ) 2 個
- 7 . スケール 50 個
- 8 . 分度器 50 個
- 9 . 色鉛筆 6 セット
- 10 . サッカーボール 5 個
- 11 . 空気入れ 2 個



< 寄贈を喜ぶ子供達の笑顔 >



< 子供達の歓迎の踊り >



< 座談会 >



< 民族衣装のプレゼント >



< 村長さんの挨拶 >

### 【キワワ小学校について】

1. キワワ小学校：地域のコミュニティで資金を集め運営している（国営ではない）
2. 生徒数：390名 男性210名、女性180名
3. 小学校：7学年（7歳から） 中学校：4学年 高校：2学年
4. 授業は7:30～12:30 給食をはさんで2:30まで
5. 通学距離：3キロ以内
6. 制服：親が準備する
7. 1年生80人が同じ教室で勉強する
8. 地理は小学校3年生からタンザニア アフリカ 世界をやる
9. 昼食：給食、校舎の外で食べる
10. 校舎、机など手作り
11. 連休：4月・・・イースターホリデー、 6月・・・冬休み1ヵ月、  
9月・・・一週間の春休み、 12月・・・クリスマス休暇
12. 授業は9科目、1年生は読み書きと算数をやる、学年ごとに違う科目をやる
13. 足りない物 教室・トイレ・図書館・教師・職員室 日本の小学校と交流したい
14. 算数・スワヒリ語・英語・理科・社会・地理・図画工作・家庭科・公民の科目がある
15. 体育の授業は公民の中に入れておりサッカーもやる
15. タンザニアの現状を日本に持ち帰って情報展開してほしい

### 【キワワ地区と人について】

1. ここの地元の人にはメルー族と呼ばれている（メルー山の麓にあるから）
2. キリマンジャロ山麓の人にはチャガ族が多い。
3. タンザニアには民族は120あり言葉が違うことも有る
4. 新しい世代は民族の言葉を話せないことも有る
5. クリスチャンが多い
6. お茶を良く飲む 朝は必ず
7. メルー山には登山ルートがあり、バッファローやキリンが道中で見られる
8. カンガには文字が書いてある。図柄が二つ入っているので、二つに分けて上半身と下半身に身につける。



<キワワ小学校 校舎>



<お別れの歌の交換>